

言葉の持つ力

著者	岡村 典子
雑誌名	新潟日報 上越かわらばん
巻	2185
ページ	2-2
発行年	2017-10-01
URL	http://hdl.handle.net/10631/00001421

看護大通信

< 156 >

看護師として病院に勤むことによって、発信した言葉が飛行機で何時間もかかると到着する国の人の一人に一つという経験が多くあります

県立看護大学 基礎看護学領域准教授 岡村 典子

言葉の持つ力

心を傷つけられたり…と表現される言葉にも、言葉遣い（言葉の選び方、使い方）が伴うのだといえます。言葉には、プラスの力、マイナスの力があることを実感します。インターネットを通して、反応の速さとともに、場合によっては不特定多数の人が見る、といった言葉を選び、どのように用いて、言葉にプラスの力を持たせることができる

た。言葉の持っている力にどれだけ励まされたか分かりません。言葉は、瞬で届いてしまいます。声に出して伝える以外に、文字としても伝えられますが、文字にもいろいろな力が宿っていることを改めて考えてみたいと思います。

情や思想が、音声または文字によって表現されたもの」といった意味のほかに、「ものの言い方、言葉遣い」といった意味もありです。こうした意味が理解できる言葉であり、声に出す言葉だけでなく、文字によって

インターネットの普及なく、非難を受けたり、や優しさを感じるだけで、非難を受けたり、

（おわり）